

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念をより具体化するために、現在行われている地域に密着した利用者のケアの視点をふまえた事業所独自の理念を構築してほしい。	グループホーム職員全員で理念を考え支援を行っていく。	ユニット会議でスタッフと話し合い、1人1つ理念を提案する。その中よりグループホームひかりの丘にふさわしい理念を決定する。	1ヶ月
2	5	事業所が抱えている問題の相談や現状を報告する機会をつくる等し、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでほしい。	行政との関わりを持つきっかけを作りサービスの質の向上に取り組む。	1ユニットごとに毎月ユニット新聞を作成し、地域包括へ挨拶へ伺う。その際に相談や現状報告を行っていく。	12ヶ月
3	14	全職員に対して、人権に関する内部または外部研修への参加の機会を設けてほしい。	年間計画を立て内部または外部研修の充実を図る。	法人全体で内部研修の計画を立案中。外部研修においても積極的に行えるよう勤務体制を整える。	12ヶ月